

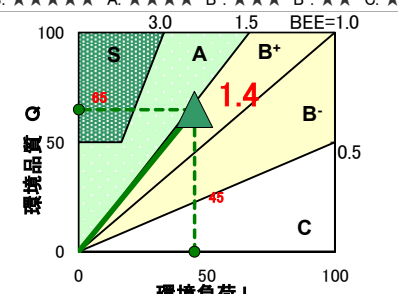
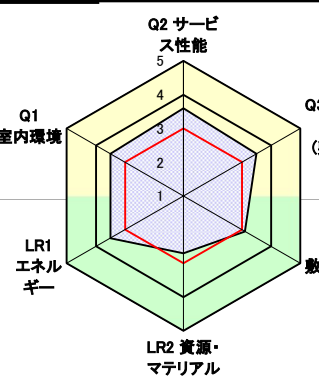
CASBEE®-建築(新築)

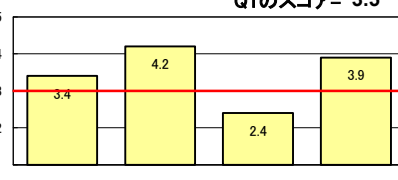
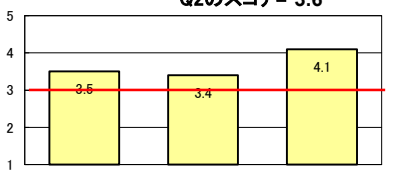
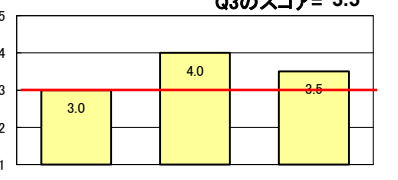
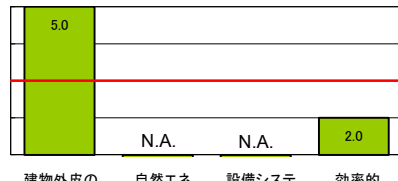
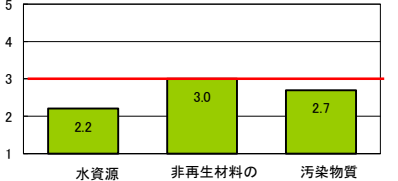
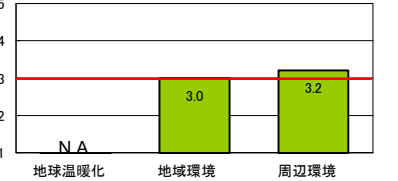
評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v4.02)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	福岡市博物館 収蔵庫棟	階数	地上2F
建設地	福岡県福岡市早良区百道浜3-901	構造	RC造
用途地域	第2種住居地域	平均居住人員	10 人
地域区分	7地域	年間使用時間	1,100 時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2026年3月 予定	評価の実施日	2024年9月15日
敷地面積	50,649 m ²	作成者	田苗 稔
建築面積	2,315 m ²	確認日	202●年●月●日
延床面積	5,121 m ²	確認者	〇〇〇

外観パース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
BEE = 1.4 S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★  環境効率 BEE = 環境負荷 L / 環境品質 Q	標準計算 ① 参照値 ② 建築物の取組み ③ 上記+②以外の ④ 上記+ 30%: ★★★★★ 60%: ★★★★★ 80%: ★★★★★ 100%: ★★★★★ 100%超: ★★★★★ ① 参照値 ② 建築物の取組み ③ 上記+②以外の ④ 上記+ 0 46 (kg-CO₂/年・m²) このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです	 Q2 サービス性能 Q3 室外環境(敷地内) LR3 敷地外環境 LR2 資源・マテリアル LR1 エネルギー Q1 室内環境

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
Q 環境品質		
Q1 室内環境 Q1のスコア= 3.5  音環境 温熱環境 光・視環境 空気質環境	Q2 サービス性能 Q2のスコア= 3.6  機能性 耐用性 対応性	Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア= 3.5  生物環境 まちなみ 地域性・
LR 環境負荷低減性		
LR1 エネルギー LR1のスコア= 3.5  建物外皮の 自然エネ 設備システ 効率的	LR2 資源・マテリアル LR2のスコア= 2.7  水資源 非再生材料の 汚染物質	LR3 敷地外環境 LR3のスコア= 3.1  地球温暖化 地域環境 周辺環境

3 設計上の配慮事項		
総合		
「学び」・「文化」・「憩い」・「観光」のつながりをつなぎ、多様な活動を創出する計画とします。		
その他		
0		
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
外皮からの熱の進入を抑えた上で、収蔵庫空調により庫内環境を向上させる計画とした。	収蔵庫棟のみの施設に付き、執務スペース無しの為、評価条件無し。	圧迫感のない外観とするために、本館外壁の割付と近い間隔で外壁を分割することで、本館とも調和した外観デザインとした。外壁はアルミを主体とすることで博物館本館の周辺環境
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
		道路境界及び隣地境界側の緑地を残し、周辺環境への影響を現状維持出来る様配置計画を考慮した。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される